

車いす利用者の視点に立って、施設の使い勝手や安全性などの情報を盛り込んだ専用ナビゲーションシステムの開発に、崇城大（熊本市区）工学部の古賀元也助教（39）の研究グループが取り組んでいる。街に出かける身障者を支援する「車いすナビ」で、9月中旬の熊本版テストモデル配布に向けて詰めめの作業を進めている。

### 崇城大・古賀助教研究グループ

## 熊本版を開発中

開発中のナビは、車いすが通りやすい経路を優先的に選んで目的地まで案内するスマートフォンアプリ。上通や下通、新市街、シャワー通りなど熊本市中心部の約60秒が対象で、308ある通りを車いす利用者が実際に訪れて、通りやすさを評価している。

「段差や道幅、障害物の有無など車いすがスムーズに通ることができると、どうか判断のポイント。雨が降っても車いす利用者は傘を差しにくい。そのため、通りにアーケードがあるかどうかも重要な評価点の一つとなる。たとえ遠回りになっても、車いすが通りやすい道順を選んで案内する仕組みだ。」

古賀助教は「実際に車いすを使っている方の生の声を最も重視した。やはり当事者が下す評価や視点は説得力がある」。当初は学生が車いすに乗って通りを走り、疲れやすさを数値化していたが、今は自走式の車いす利用者8人、電動車いす利用者2人が通りの使いやすさの検証に加わっているという。

ナビには、車いすで利用できるトイレ、身障者用駐車場への案内機能も持たせた。ともに、街に出かける車いす利用者が最も重視する施設。特にトイレは、街中の飲食店などで車いすに対応したトイレがないケースも多く、すぐ近くで利用できるトイレを探せるニーズは高い。

ナビではGPSと連動して、周辺にあるトイレや駐車場を地図上に表示。使いたいトイレを選ぶと、住所や利用できる時間などを伝える。

# 「車いすナビ」で通りやすい道へ



車いすが通りやすい道を優先して目的地まで案内する車いすナビの画面。街中にある車いすに対応したトイレを表示することもできる＝写真上。使いたいトイレを選ぶと、住所や利用できる時間などを伝える＝同下（古賀元也助教提供）

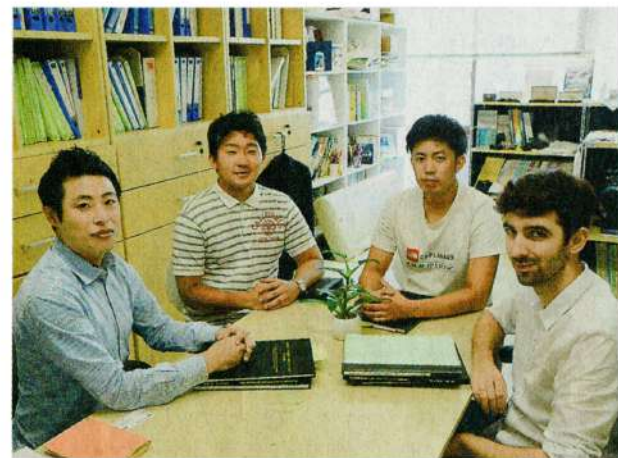


## 当事者の声重視 トイレ、駐車場も詳しく

時間帯、連絡先、建物の何階にあるかなどの情報が写真とともに表示される。「トイレは外出する車いす利用者にとって最も大切な情報なので、より多くのデータを盛り込んだ」という。駐車場は、名称や利用できる台数などを表示する。

古賀助教の研究チームは、都市計画や地域計画全般。車いす利用者も参加しやすい街づくりのために求められる整備や、今ある施設を快適に使うために必要な知恵が何か、という視点から研究を進めている。

今後、テスト版運用で得た知見を基に改良を加える。古賀助教の研究チームは、都市計画や地域計画全般。車いす利用者も参加しやすい街づくりのために求められる整備や、今ある施設を快適に使うために必要な知恵が何か、という視点から研究を進めている。



「車いすナビ」の開発を進める崇城大工学部の研究グループ。写真左から古賀元也助教、修士1年の永田章太郎さんと網田隆晟さん、研究員のジャン・ミゲル・バルベルデ・マルチネスさん

名称 熊本市役所  
所在地 熊本県熊本市手取本町1-1  
利用時間 8:30～17:15  
定休日 日・祝日  
連絡先 096-328-2111  
階数 1,2,14  
個数 5  
特記事項 14Fのみ22:00まで  
タイプ オストメイト対応トイレ、おむつ交換台付きトイレ  
経路

### ダウンロード 来月中旬以降

名称は「車いすナビ」。iPhone版のみで、9月中旬以降、ダウンロードできる予定。無料。問い合わせは古賀研究室 ☎096(326)3639。